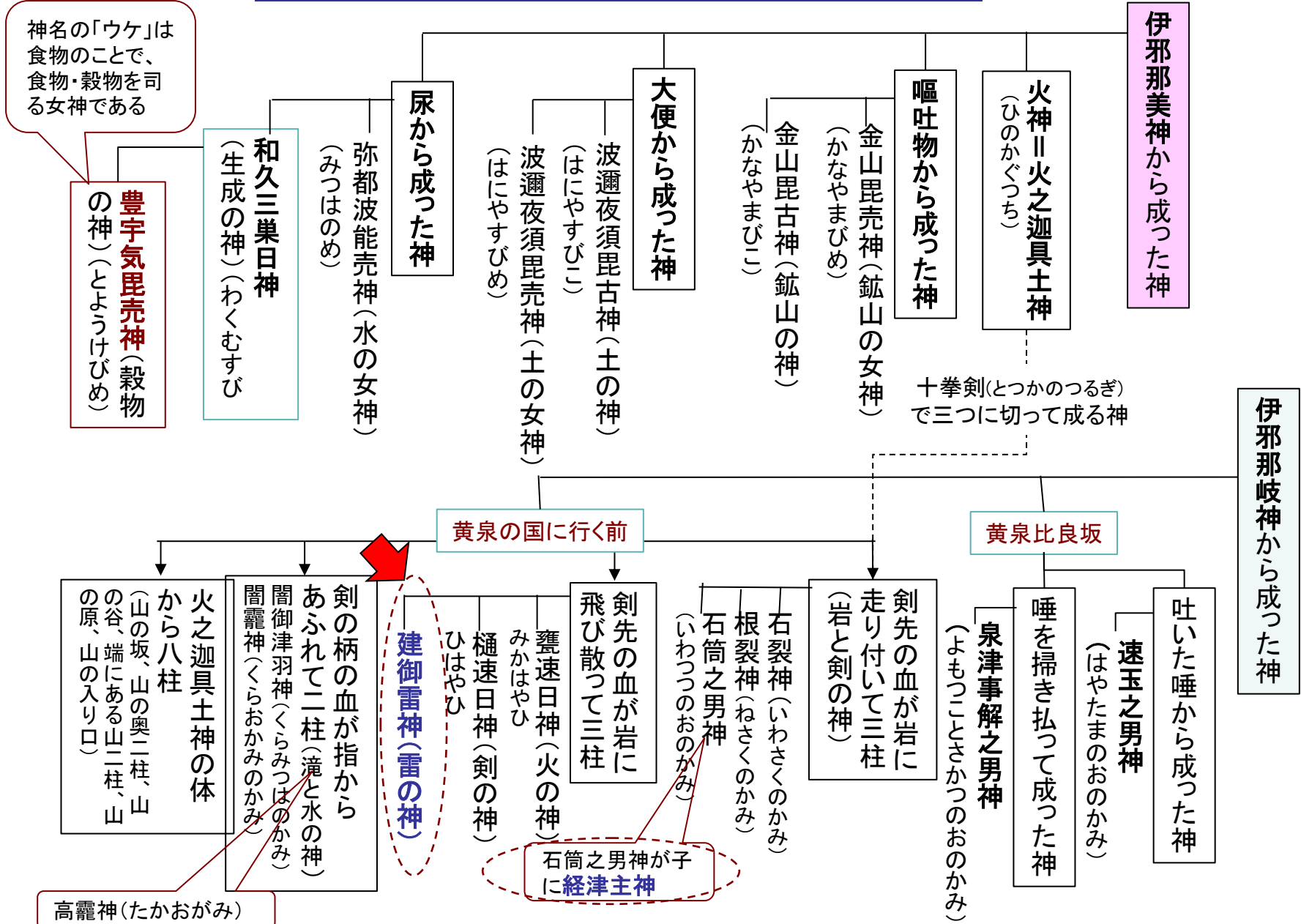


日本の古代史とその文化シリーズ9

「大和と平安京を創った人々」

参照資料：第1回「国譲りと天孫降臨」

参照資料1-1: 武御雷神と経津主神の位置づけ



参照資料1-2: 荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡出土品の「X」印

出典: ウィキペディアから図柄引用



参照資料1-3: 諏訪大社

出典: ウィキペディアから図柄引用



諏訪大社 上社本宮 弊拝殿

祭神: 建御名方神(たけみなかたのかみ)



諏訪大社 下社春宮 弊拝殿

祭神

- * 建御名方神(たけみなかたのかみ)
- * 八坂刀売神(やさかとめのかみ) - 主祭神。
- * 八重事代主神(やえことしろぬしのかみ)



諏訪大社 上社前宮 本殿

祭神: 八坂刀売神(やさかとめのかみ)



諏訪大社 下社秋宮 神楽殿

参照資料1-4-①: 古代の鉄

出典:「鉄から見た我が国の古代史」高効率発電システム研究所 吉田敏明

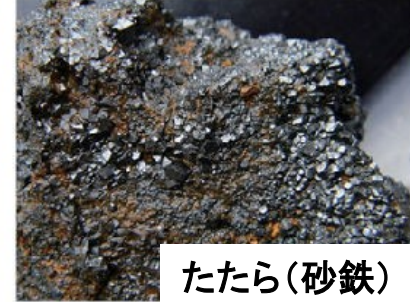
課題鉄
の種類



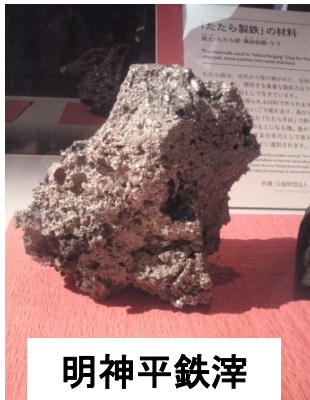
湯鉄鉱



現在の高炉



たたら(砂鉄)



明神平鉄滓



鉄塊

湖沼鉄からの鉄滓



鍛造品



名寄鈴石

湖沼鉄(湯鉄鉱)



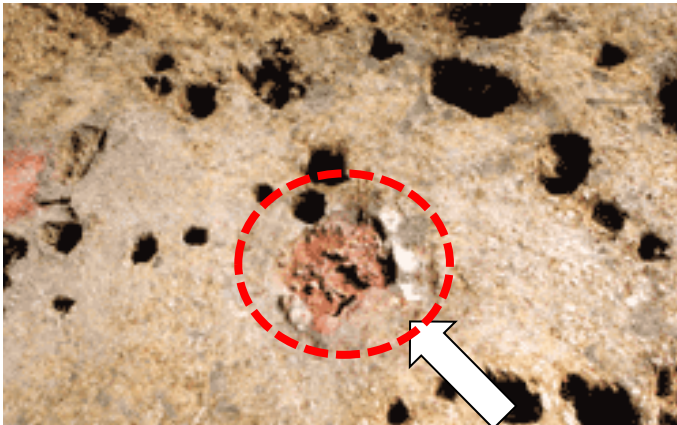
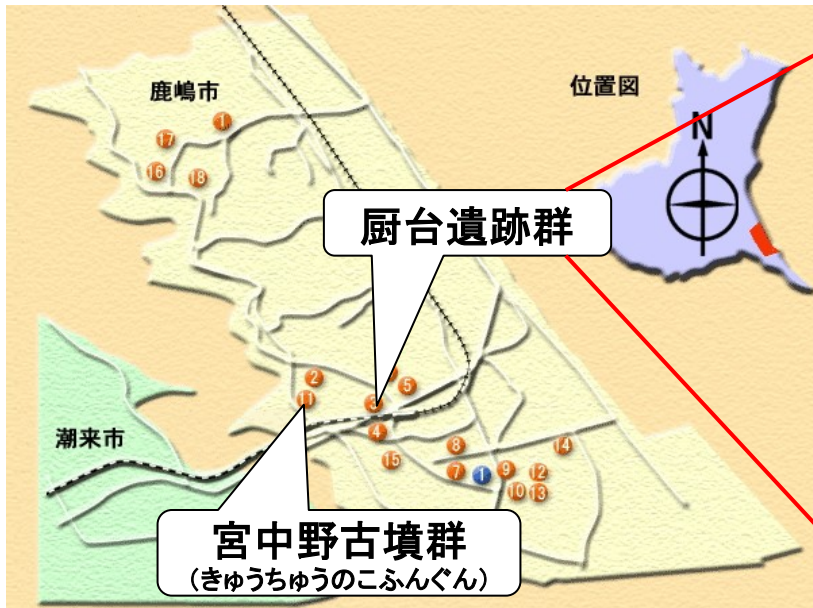
高師小僧



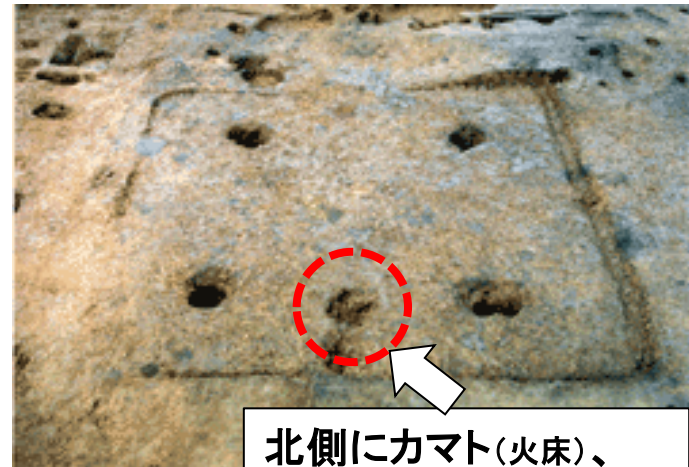
図5 赤褐色の沈殿と油模様の酸化鉄⁽²⁾

参照資料1－4－②: 厨台遺跡群

出典: ウィキペディアから図柄引用



縄文時代中期の住宅跡。中央は炉跡です



北側にカマト(火床)、
4本の穴は柱の穴です

参照資料1-4-③:鉄精錬の技術

(1)千葉県沖塚の大鍛冶と小鍛冶セットの遺跡

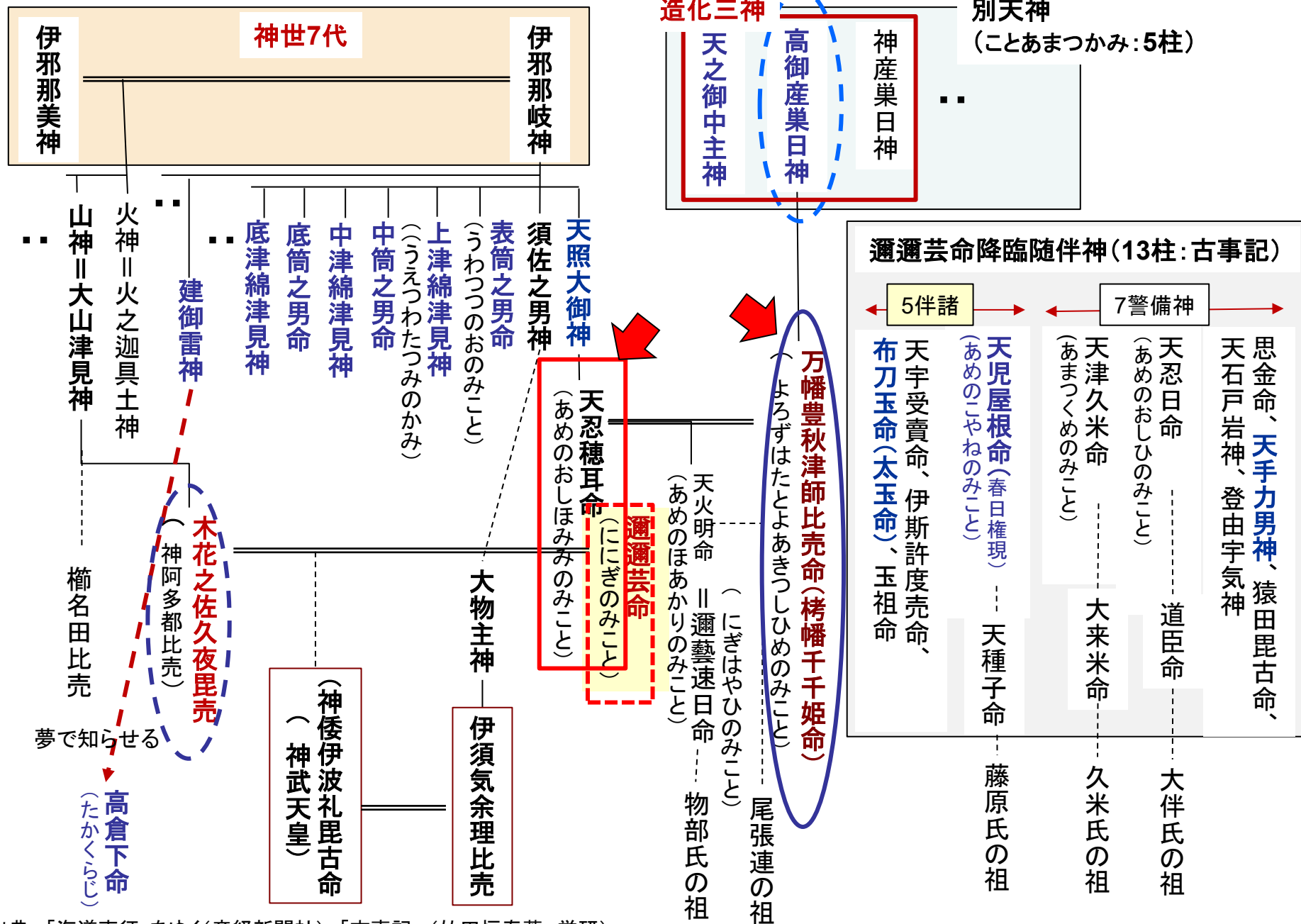


(2)弥生一古墳時代の主な精錬・鍛造遺跡

遺跡名	年代	出土	融点
京都・扇谷	弥生初頭(前10世紀)	鉄滓(溶融あり)	(銅の溶融温度1084.5度) * 渴鉄鉱は400度 * 銑鉄の溶融 温度は1200度 * 磁鉄鉱(砂鉄)は 1538度 * 赤鉄鉱(高炉)は 1550度
鹿児島・王子	弥生中期後半	鉄滓	
福岡・赤井手	弥生中期後半	鉄塊系遺物	
石川・奥原峠	弥生後期中葉	鉄塊系遺物	
千葉・沖塚	古墳初頭	鉄滓	

出典:「古代の鉄素材と鍛冶」(ohmura-sutady.net)

参照資料1-5:高御産巢日神と高天原の関係



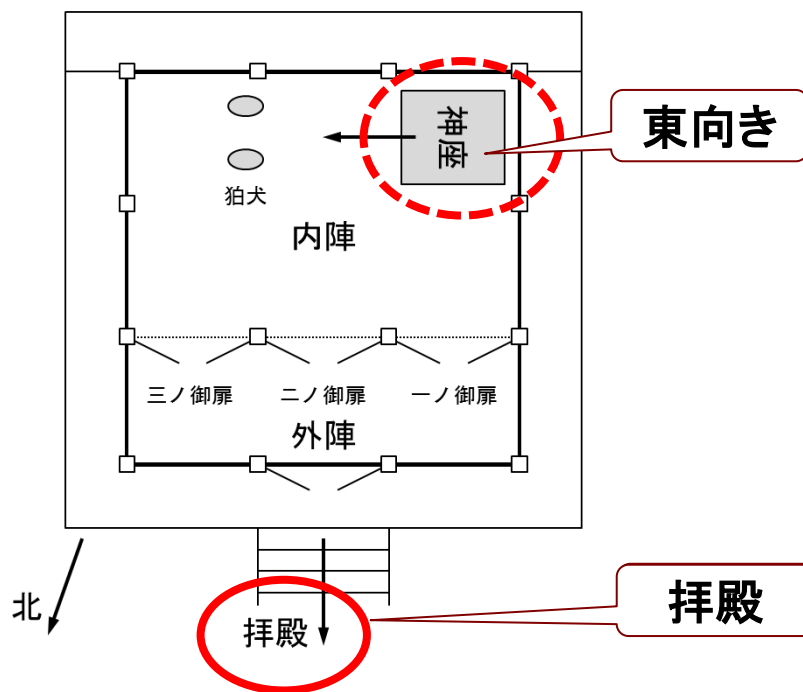
参照資料1－6：東国三社（鹿島神宮、香取神宮、息栖神社）



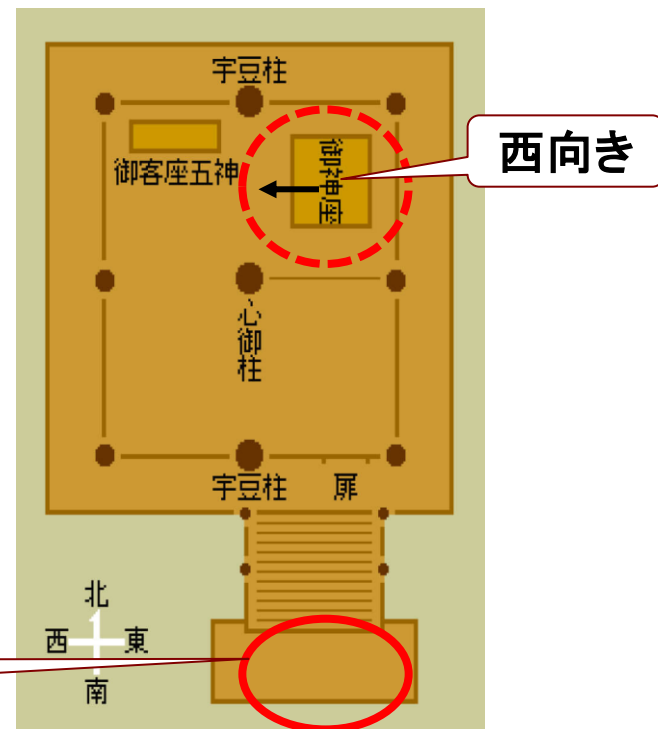
出典：ウィキペディアから図柄引用

参照資料1-7: 鹿島神宮と出雲大社の神殿

出典: ウィキペディアから図柄引用

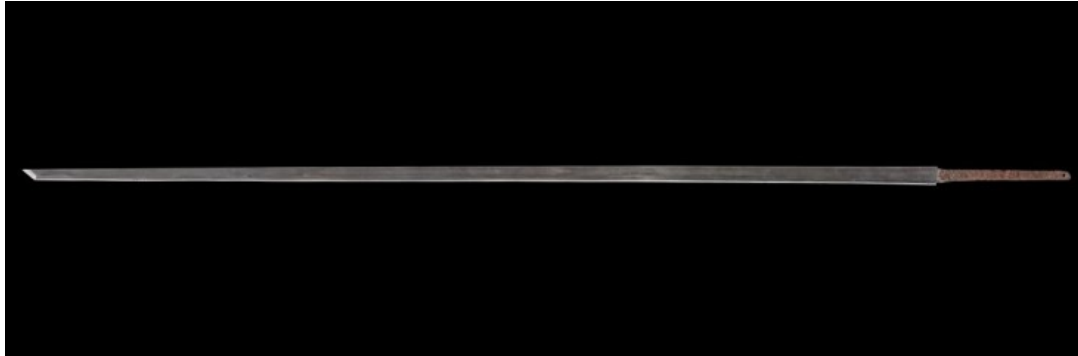


鹿島神宮神殿



出雲大社神殿

参照資料1－8:鹿島神宮の直刀 劔霊劔(フツノミタマノツルギ)



出典:ウィキペディアから図柄引用

参照資料1-9: 鹿島神宮 御船祭

出典: ウィキペディアから図柄引用

鹿島立ち

息栖神社鳥居

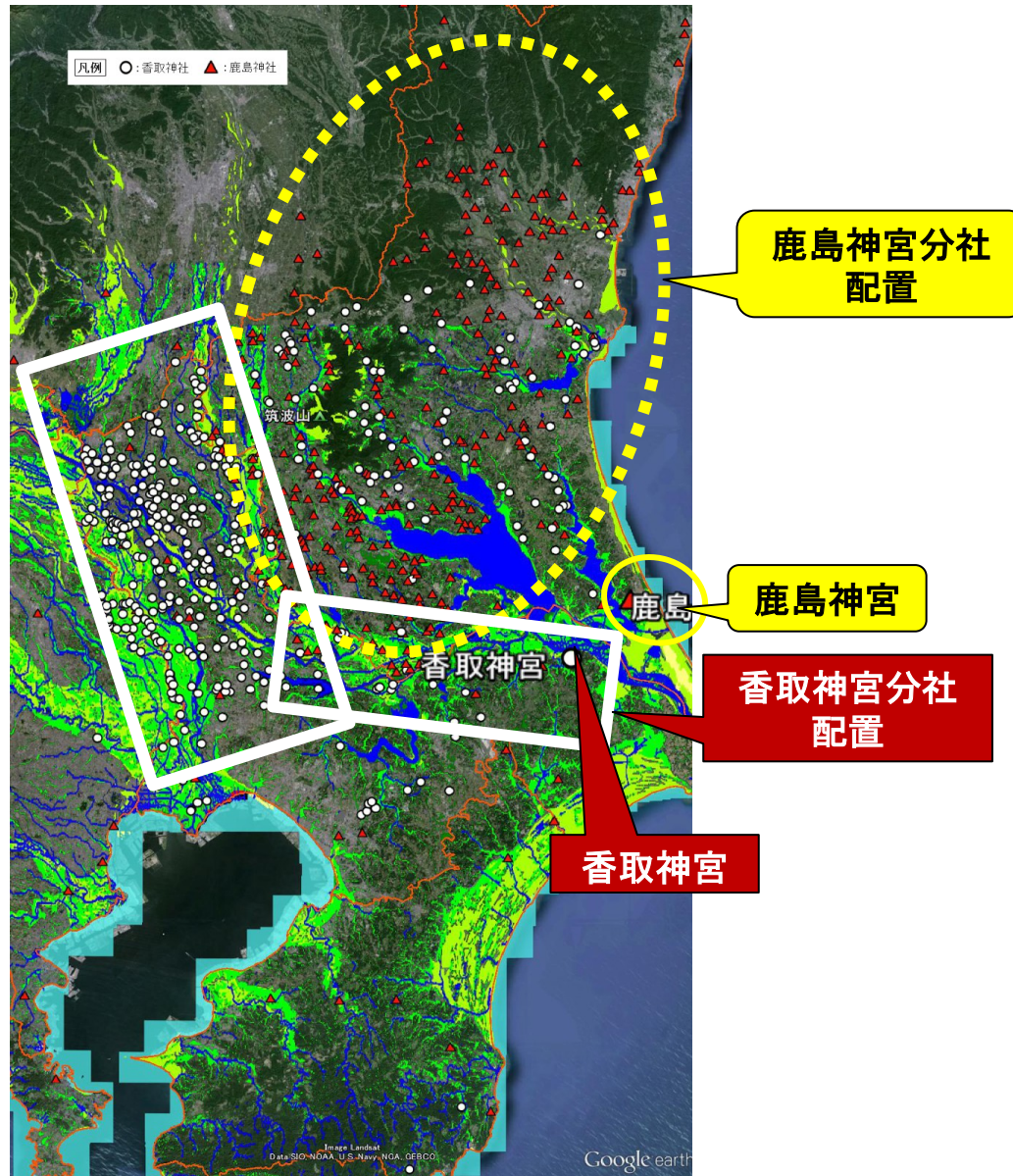


神霊が神域外へ渡御される神幸祭であるが、船で渡御



参照資料1－10: 鹿島神宮と香取神宮の分社配置

出典: ウィキペディアから図柄引用



参照資料1－11:筑波山(二神山)と筑波山神社

出典:ウィキペディアから図柄引用



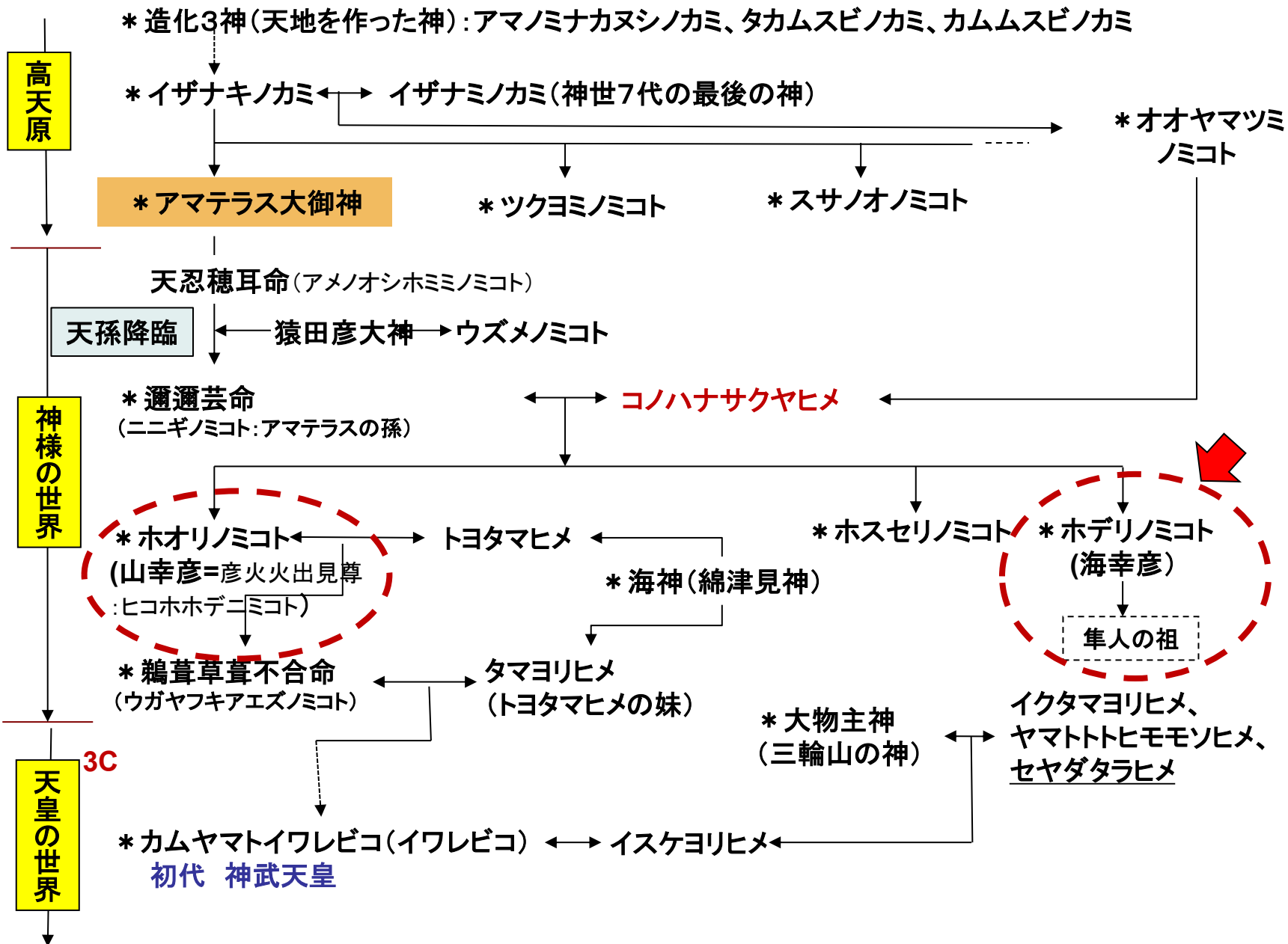
参照資料1－12: 鹿児島神宮

出典: ウィキペディアから図柄引用



主祭神
彦火火出見尊 (ひこほほでみのみこと) (山幸彦)
豊玉比売命 (とよたまひめのみこと)

参照資料1-13: 鹿児島神宮と隼人の祖神



参照資料1－14: 鹿児島神宮と霧島神宮

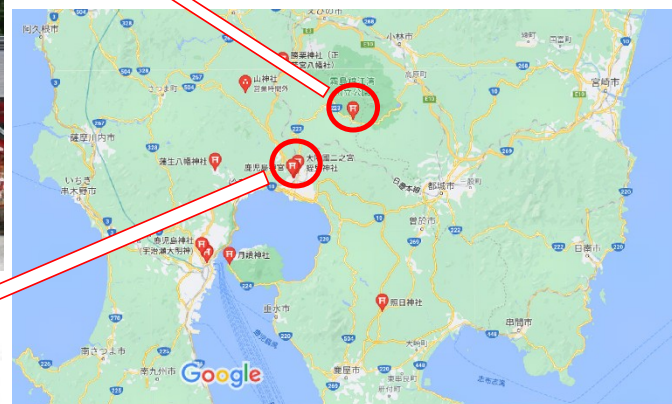
出典: ウィキペディアから図柄引用



霧島神宮



鹿児島神宮



地図データ ©2021 10 km